

あすなろ

第229号

横須賀市平作2-31-1

横須賀市立衣笠中学校

編集・印刷 PTA広報委員会

TEL 853-5993/8809

発行 平成27年11月25日

世界の中の われら良き友
いざ母校につどい 理想に向かわん



衣笠中学校の校歌の一節です。この歌詞を実践しているような姿にたくさん出会うことができました。後期を迎え、9月に体育祭、10月に合唱コンクール、力を合わせて取り組む行事が続きました。生徒たちは、春・夏・秋と着実に実り、大きな収穫を得たようです。そんな姿に感動し、涙を浮かべる保護者の姿にも、たくさん出会うことができました。この衣笠中学校で・・・。

一人が頑張るとき
それはみんなが頑張るとき



協調性を感じた体育祭

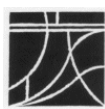
勝ちにこだわり熱が入りすぎて、方向性の違う戦いが起きがちな体育祭ですが、今年の体育祭は違いました。お互いが認め合い、讃え合う、そんな体育祭でした。赤軍、青軍、黄軍が円陣を組んで盛り上げているといった、まさに体育祭。見事な祭りを見ることができました。そしてその中核に居た3年生は本当に素晴らしかったです。3年生のようになりたい。そんな思いが受け継がれている証を3年生が見せてくれました。

Contents ・ ページ紹介

- P 1 表紙 (体育祭での1枚・2年大縄とび)
- P2~3 体育祭フォトギャラリー
- P4~5 特集 ~親の立ち位置~
『思春期の子どもとどう向き合う?』
- P6~7 部活動・部長引き継ぎ／駅伝
- P 8 部活動報告／甲冑隊・兜づくり
／あすなろ祭



第37回 体育祭



衣中生が一丸となって取り組む行事…それが体育祭。生徒たちはこの体育祭を通じて多くのことを学んだ。
力を合わせること、行動で示すこと、人を認めること。今後の衣中生に期待がふくらむ一日となった。





総合優勝 黄軍／応援優勝 赤軍

無冠で終えた青軍からは勝者への賞賛の言葉、それに対して青軍を讃える言葉がどこからともなく返ってきた。とても素晴らしい閉会式だった。



思春期の子どもとどう向き合う？



親にできること 親だからできること



思春期でまず直面するのは反抗期ではないでしょうか。誰もが迎える親への反抗…受け止める親は大変です。中には反抗期がないお子さんもあるようですが、安心してはいけません。相手が親ではないだけで、コントロールできない感情を抱えているかもしれません。表現の仕方は人それぞれ違いますが、すべてが成長の過程として受け止めましょう。自分1人で頑張らずに、肩の力を抜いて。



反抗期を経験した保護者のみなさんに聞きました

「お宅のお子さんの反抗期って どんな感じでしたか？」

インタビューに答えてくださった皆さん、ご協力ありがとうございました。
勝手なコメントをつけさせていただきました。(笑)

★言葉が冷たくなる

「体温が低いのかな？」

★話しかけても無視

「返事くらいはしてよ～」

★にらむ、目つきが怖い

「もしかして視力落ちた？」

★返事が雑

「誰かさんと同じかも(私？旦那さん?)」

★しゃべらなくなる

「しゃべりっぱなしよりは静かでもいいかも」

★父親を毛嫌いする

「その人と結婚した私って…」

★自分の部屋にばかりいる

「その分会った時新鮮かも」

★学校に来るなと言う

「でも行きたいのさ」

★学校で会っても顔を合わせてくれない

「視野には入っているはずです」

★イライラして壁に穴を開けられたことがあった

「せめて障子だったら良かったのに」

★勉強をしない

「それって反抗期？」

こんな発見がありました

容赦なく親への反抗をしている子が、実は学校ではとても立派に行動し、部活内でも仲間からも慕われていたのです。他の親からも「ちゃんと挨拶もしてくれるし、心配いらないよ。」「親だから甘えて反抗しているのよ。外で迷惑かけるよりいいじゃない。」との言葉。そういうものなのかなあと感じました。自分の目の前にいる子の姿が全てではありません。親にとっては辛い時期かもしれませんが、自分だからこそ甘えているのだと思って乗り切りましょう。

母親はクソババアと言われて一人前

誰かがそんなことを言っていました。(言われずに越したことはありませんが…)

自分も通ってきた道なのですが、親になって初めて知る辛さを味わっている時期かと思います。子どもも子どもなりに、体の成長に心が追いつかず悩んでいる時期でもあります。自分の過去を振り返りつつ、おおらかな気持ちで対応しましょう!! とはいえ、長く続くと正直堪えますよね。そんな時は思い出し、頑張っているクソババアがたくさんいることを。

友達トラブルはあって当たり前 その中で子どもたちに望むこと



初対面の人とトラブルを起こすことは、そうあるものではありません。同じ空間を共有するからこそ、ちょっとしたことが気になり始め、そのちょっとしたが、気がつくとは大問題になってしまう。ここで問題なのはちょっとした大きさが人によって違うということ。投げ手にとっては軽いつもりでも、受け手にとっては重く感じてしまうことも。逆に重く受け止めて欲しいのに、軽くしか感じてもらえないこともあります。これは中学生に限ったことではありません。むしろ大人になってからのほうが多く、そして深刻かもしれません。相手のことを思って言葉を選ぶこと、よく考えて行動に移すこと、この時期にたくさん練習して欲しいと思うのです。心が柔軟で、そばで見守ってくれる人がいるこの時期に。

残念ながら練習不足の大人がたくさんいます。とにかく大人はプライドが邪魔をして、謝ることが出来ないのです。思春期のこの時期は、相手を傷つけることもあるでしょう。悲しい思いをすることもあると思います。でも、修復することを覚えてください。失敗した時は謝ればいいんです。

コミュニケーション手段がメールやラインが主流の今、相手に自分の気持ちがちゃんと伝えられていますか。一方通行のコミュニケーションになっていませんか。投げ捨てるような言葉を使っていませんか。どうか心に残る言葉が温かい言葉でありますように。



の立ち位置



親同士のトラブルに発展させないために

夏休み前に、全学年三者面談がありました。その三者面談において、勉強面だけではなく友達との関係をご相談されたご家庭も多かったようです。困っていることを親子で共有し、学校に相談することはとても良いことです。相談することは安心した学校生活を送るための近道だと思います。

親の出番はどこまで必要？

ここで注目したいのは、親は子どもが1人で抱え込まないようにサポートすること。解決するのは本人です。親は当事者ではないのです。学校で起きたことは学校で解決。部活で起きたことは部活で解決。塾で起きたことは塾で解決。手助けはできても解決はできません。小さな問題を大きくしてしまっているのは私たち親なのかもしれません。思春期ゆえに起きてしまう問題がほとんどです。わが子を守るだけではなく、相手の子にも見守る優しさを向けてあげてはいかがでしょうか。子ども同士のトラブルを先生と両者の親が協力し合って見守ることができたら、とっても素晴らしい学校になると思いませんか。どちらが良いか悪いかを判定するためではなく、子どもたちが安心して学校生活を送るために、親である私たちがまずはゆったりとした心を持ちましょう。子どもは親を見ています。親として、何をどこまでやるべきか考えてみませんか。

T S U N A G U

～ 思いをつなぐ～

3年生の引退とともに、新体制で各部活動が始動しました。1,2年生は先輩たちの足跡を、一步一步たどり始めています。新部長の紹介とともに、今まで部長として部員をまとめてくれた旧部長から、後輩達へのメッセージを紹介します。

*名前は写真左より * (新)は新部長 (旧)は旧部長

☺ → 旧部長から後輩たちへのメッセージ

野球部



高橋 優太 (旧)

鈴木 志韻 (新)

☺ 練習を頑張って優勝してください。



陸上部



原 真奈美 (新)

原 承太郎 (旧)

大貫 翔 (新)

☺ 目標を持って練習すれば必ず記録は伸びると思います。なので、日々の練習一回一回を大切に頑張ってください。時間は守ってね。



サッカー部



渡邊 来旗 (旧)

鈴木 蒼大 (新)

☺ 引退したけど、いつまでも君たちの先輩です。衣中サッカー部の良い報告を、3年生一同楽しみに待っています。



男子 バスケットボール部



増田 圭吾 (旧)

小林 颯太 (新)

☺ 徹底 応援される部になれ



女子 バスケットボール部



筑井 葵 (新)

石渡 明日香 (旧)

☺ 元気で明るく、3年生の目標
”県大会出場”を目指してください。



男子 ソフトテニス部



石渡 裕斗 (新)

今野 輝和 (旧)

☺ 3年が2人だけだったのについて来てくれてありがとう。これからも、強いチームでがんばれ！



女子 ソフトテニス部



林 朱莉 (新)

鈴木 なぎさ (旧)

☺ 人数が多いけど、みんなで協力して頑張ってください。



バレーボール部



角田 智美 (旧)

星川 佳苗 (新)

☺ 県大会に行って勝ち進めるように頑張ってください。



水泳部



森谷 康平 (新)

吉野 美里菜 (旧)

☺ 0.1秒でも速いベストが出せるよう東宮先生のキツメニューを頑張ってください。



～次の世代にバトンタッチ～

卓球部



大橋 優弥 (旧)
三橋 未歩 (新)

☺ Believe in yourself



剣道部



畠井 卓海 (旧)
笹島 隆生 (新)

☺ 一朝一夕で剣道の道は上達するもの
ではないです。日々の努力を大切に、
楽しく、悔いを残さぬよう頑張ってください。



柔道部



黒田 愛優彩 (旧)
茨木 瑞穂 (新)

☺ 自分の技を磨いてください。



科学部



片平 達也 (旧)
小島 駿良 (新)

☺ これからもチームを大切に
(信じて)大会に臨んでください。



美術部



鈴木 二千花 (旧)
盛 陽 菜 (新)

☺ 挨拶、返事を今以上に元気にしてくださ
い。沢山の作品を創り出してください。



演劇部



川越 武 (旧)
勝 美沙希 (新)

☺ 目標に向かって突き進め



横須賀市中学校駅伝競走大会

24校中、男子4位、女子14位と大健闘

毎年、横須賀市の全中学校から選ばれた選手たちが、学
校を代表して出場します。10月24日(土)国道16号馬堀海岸
のコースを男子6区間、女子5区間を選ばれた精鋭たちがタ
スキを繋げて走りました。

この駅伝で走るということは、とてもすごいことです。な
ぜならこのレースに出るために、1次・2次と選考会を重ね、
最終選考で選ばれた男子6名、女子5名の11名しか当日は走
れないのです。選手たちはこの駅伝部の練習に夏休みから
3か月間励みました。自分が所属する部活の練習もある中
でのことです。選ばれた選手たちの後ろには、ともに汗を流
した仲間が大勢います。その仲間の思いをタスキに託して
走った選手たちに拍手を送ります。

3年が掲げたスローガン

後輩に見せつけろ

大きな背中 と かたい絆

後輩たちはそんな先輩の姿を見て

さらに上を目指します



男子チーム

1区 藤井 拓海 (3-1)

2区 平田 大樹 (3-3)

3区 檜山 太一 (3-1)

4区 大野 乃樹 (2-4)

5区 門間 大樹 (3-2)

6区 松澤 龍海 (3-2)

女子チーム

1区 中間 果帆 (2-1)

2区 忌部 愛苗 (2-3)

3区 若林 瑠花 (1-2)

4区 川本 愛莉 (3-2)

5区 小島 奈美 (3-1)

★松澤龍海くんが区間賞を獲得し表彰されました。

部活動報告

各部とも日頃の努力が実り、多くの結果を残しましたが、紙面の都合上
上位入賞のみご紹介させていただきます。赤→関東大会進出 青→県大会進出

科学部

◇神奈川県創造ロボットアイデアコンテスト

【関東大会進出】

基礎部門 兼田あみか 3年(大会推薦)

◇中学校創造アイデアロボットコンテスト

第12回横須賀大会 競技の部

基礎部門 3位 兼田あみか 3年

演劇部

◇横須賀市中学校演劇発表会

作品名「ゲルニカ」 優秀賞・舞台効果賞

演技賞(ユウ役) 伊藤真瞳 2年

美術部

◇地球環境世界児童画コンテスト

国内入選 目黒真由 3年

野球部

◇市民大会兼新人スポーツ大会 3位

サッカー部

◇横須賀市中学校総合体育大会 3位

剣道部

◇横須賀市民大会

中学男子団体の部 3位

中学1年男子の部 優勝 飛永勇弥

陸上部

◇県総体予選

男子100m 4位 藤崎健太 3年

男子200m 3位 門間大樹 3年

◇市民大会

男子100m 2位 門間大樹 3年

男子800m 2位 平田大樹 3年

4×100mリレー 3位

原承太郎・藤崎健太・平田大樹・門間大樹

◇横須賀市中学校総合体育大会

1年男子100m 3位 中元栄太

3年男子100m 優勝 藤崎健太

3年女子100m 3位 府川愛香

3年男子200m 2位 門間大樹

3年男子4×100mリレー 優勝

原承太郎・藤崎健太・平田大樹・門間大樹

2年女子走高跳 2位 原真奈美

3年女子走高跳 3位 山浦ひかる

◇ジュニアオリンピック予選会

200m 門間大樹 3年

水泳部

◇県総体ブロック予選

女子100mバタフライ 2位 吉野美里菜 3年

卓球部

◇第28回神奈川県中学生学年別卓球大会

横須賀地区予選 3年女子の部

優勝 金原みなみ/3位 守屋菜々美

5位 亀山紀美恵/5位 嶋宮愛莉

2年女子の部 5位 三橋未歩

◇第49回県総体横須賀ブロック予選

女子個人の部 優勝 金原みなみ

3位 守屋菜々美/5位 荒井理那

9位 亀山紀美恵/9位 嶋宮愛莉

女子団体の部 優勝

◇第34回市内中学校新人スポーツ大会

2年女子の部 2位 三橋未歩

1年女子の部 3位 岩田結

◇第64回横須賀市中学校総合体育大会

女子団体の部 優勝

ソフトテニス部

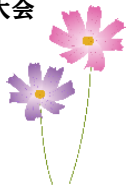
◇第34回横須賀市新人スポーツ大会

男子個人戦の部

3位 鈴木陸弘・青山怜生ペア

◇第32回横須賀ブロック新人大会

男子団体戦 3位



人とのふれあいから学ぶ

衣中の伝統授業



甲冑隊の方々の指導による 兜づくり

衣笠中学校では、学校の先生以外の大人から指導を受ける機会を設けています。1年生は横須賀開国甲冑隊の方々にお願いして、制作指導を受けます。事前に先生方が指導を受け、制作に取り組みました。11月から生徒たちが作ります。今年度は兜です。守り刀を作った年もありましたが、ここ数年は兜が好評で、2年連続の取り組みとなります。学校の先生以外の大人との関わりを持つことは、教科書では学べない、貴重な経験となることでしょう。2年生は職場体験やマイタウンティーチャー、3年生は農家民泊の修学旅行、衣笠中学校では全学年で人との関わりを通して学ぶ場があります。

PTA主催 あすなろ祭

2015. 10. 10開催

今年もこの時期にPTAが集結し、部活動の生徒たちの力を借りて開催しました。あすなろ祭のオープニングは演劇部による公演「ゲルニカ」、模擬店は各委員会が様々なメニューを担当しました。毎年出店していただく、青少年育成地域連絡会の皆さんによる焼き鳥コーナーは、あすなろ祭の定番メニューです。今年の新メニュー「揚げパスタ」「ベルギーワッフル」も大好評でした。模擬店終了後は、三浦学苑吹奏楽部による演奏会で幕を閉じました。今年は各委員会のPRを兼ねたウェルカムボードを作成し、ご来校いただいた皆様に福が舞い込みますように、そんな願いが込められています。

